

高校生を対象とした保育職に対する意識調査（ウェブ調査）の再分析

（１）調査の概要

本調査は、保育職の魅力向上に資する基礎的情報を得るため、高校生の保育職への興味・関心や保育職に抱くイメージ、将来の就職希望等の実態を把握することを目的とした。

高校生の保育職に対するイメージ改善や保育・幼児教育分野への進学希望の向上に資する情報を得ることを目的とする。

調査方法はインターネットを利用したウェブアンケート調査とし、調査期間は令和6年1月5日（金）～1月9日（火）の5日間とした。調査対象は、調査会社にモニター登録している高校生1000人で、回答者の内訳を性別で見ると、男子186人、女子785人、回答したくない29人となっており、学年で見ると、1年生340人、2年生365人、3年生294人、その他1人となっていた。

調査項目について、高校生を対象とした保育職に対する意識調査は、「基本属性」、「卒業後の希望進路」、「中学生以降の幼稚園や保育所との関わり」、「保育に対するイメージ」、「将来幼稚園や保育所の先生になりたいと思うか」、「幼稚園教諭や保育士を目指す生徒を増やすために必要な取り組み」などについて質問を設定した。

分析方法について、進学を希望する学部の内、「保育・幼児教育関係への進学を希望する群」と「保育・幼児教育関係以外への進学を希望する、または就職希望、未定の群」による2群比較、「保育仕事に興味があり先生になりたいと思う群」、「保育仕事に興味はあるが先生になりたいとは思はない群」、「保育仕事に興味・関心がない群」の3群による比較を行った。比較に際してはクロス集計を行い、 χ^2 検定及び残差分析で有意性を検討した。クロス集計に際しては、選択肢の構造を簡素にする目的から、4件法で問う設問を例に、肯定的（楽しかった、まあ楽しかった）、否定的（あまり楽しくなかった、楽しくなかった）などと適宜選択肢を統合した。 χ^2 検定は、両側検定で $P < 0.05$ を統計学的に有意とした。両側検定による残差分析の有意確率は、 $|r| > 3.29$ ならば $P < 0.001$ (***), $|r| > 2.58$ ならば $P < 0.01$ (**), $|r| > 1.96$ ならば $P < 0.05$ (*)とした。また、進学を希望する学部の内、「保育・幼児教育関係への進学を希望する」場合の要因分析、「保育仕事に興味があり先生になりたいと思う」場合の要因分析について、それぞれロジスティック回帰分析を用いて分析を行った。尚、「保育に対するイメージ」については、単一選択式設問（SA）で問う設問、複数選択式設問（MA）で問う設問がそれぞれ設定されているが、 χ^2 検定については単一選択式設問（SA）を使用し、ロジスティック回帰分析については複数選択式設問（MA）を使用した。統計解析には、統計ソフトR Ver. 4.4.2を使用した。

（２）主な調査結果

① 卒業後の進路別クロス集計について、進学を希望する学部の内、「保育・幼児教育関係への進学を希望する群」と「保育・幼児教育関係以外への進学を希望する、または就職希望、未定の群」に相違を検討するために χ^2 検定および残差分析を行った結果、「家庭科で

受けた授業のうち、保育や子育てに関する授業の印象」、「保育という仕事に対するイメージ」「幼稚園や保育所の先生になりたいと思ったきっかけ」を除く全てで有意差が認められた（表 1-1、1-2）。「中学生以降に、幼稚園や保育所の先生の働く姿を見た経験」では「保育・幼児教育関係への進学を希望」する群が「ある」（73.3%）で有意に多く、「保育・幼児教育関係以外への進学を希望、就職または未定」の群では「ない」（53.0%）が有意に多かった。「学校の職場体験で、幼稚園や保育所に行ったこと」では「保育・幼児教育関係への進学を希望」する群が「ある」（45.7%）で有意に多く、「保育・幼児教育関係以外への進学を希望、就職または未定」の群では「ない」（75.6%）が有意に多かった。「学校の授業以外で、保育や子育てについて調べたり、話を聞くような機会」では「保育・幼児教育関係への進学を希望」する群が「あった」（85.7%）で有意に多く、「保育・幼児教育関係以外への進学を希望、就職または未定」の群では「なかった」（51.0%）が有意に多かった。「保育の仕事に興味や関心」では「保育・幼児教育関係への進学を希望」する群が「ある（ある、少しある）」（95.7%）で有意に多く、「保育・幼児教育関係以外への進学を希望、就職または未定」の群では「ない（あまりない、ない）」（69.2%）が有意に多かった。「将来、幼稚園や保育所の先生になりたいか」では「保育・幼児教育関係への進学を希望」する群が「思う（思う、少し思う）」（88.6%）で有意に多く、「保育・幼児教育関係以外への進学を希望、就職または未定」の群では「思わない（あまり思わない、思わない）」（57.5%）が有意に多かった。「幼稚園や保育所の先生になりたいと思ったきっかけ」では「保育・幼児教育関係への進学を希望」する群が「自分が通っていた幼稚園や保育所の先生に憧れたから」（15.4%）について有意に多かった。

② 保育の興味や関心別クロス集計について、「保育仕事に興味があり先生になりたいと思う群」、「保育仕事に興味はあるが先生になりたいとは思はない群」、「保育仕事に興味・関心がない群」での相違を検討するために x² 検定および残差分析を行った結果、「中学生以降に、幼稚園や保育所の先生の働く姿を見た経験」、「学校の職場体験で、幼稚園や保育所に行ったこと」、「学校の授業以外で、保育や子育てについて調べたり、話を聞くような機会」、「保育という仕事に対するイメージ」で有意差が認められた（表 2）。「中学生以降に、幼稚園や保育所の先生の働く姿を見た経験」では「興味・関心があり、先生になりたいと思う」群が「ある」（68.2%）で有意に多く、「興味・関心はない」群では「ない」（58.5%）が有意に多かった。「学校の職場体験で、幼稚園や保育所に行ったこと」では「興味・関心があり、先生になりたいと思う」群が「ある」（48.2%）で有意に多く、「興味・関心はない」群では「ない」（80.4%）が有意に多かった。「学校の授業以外で、保育や子育てについて調べたり、話を聞くような機会」では「興味・関心があり、先生になりたいと思う」群が「あった」（78.9%）で有意に多く、「興味・関心はない」群では「なかった」（61.3%）が有意に多かった。「家庭科で受けた授業のうち、保育や子育てに関する授業の印象」では「興味・関心があり、先生になりたいと思う」群が「肯定的（楽しかった、まあ楽しかった）」（97.4%）で有意に多く、「興味・関心はない」群では「否定的（あまり楽しくなかった、楽しくなか

った)」(27.2%)が有意に多かった。「保育という仕事に対してのイメージ」では「興味・関心があり、先生になりたいと思う」群において「子どもの成長を支える」(23.8%)、「楽しい」(5.5%)、「やりがいがある」(7.3%)で有意に多く、「興味・関心はない」群では「子どもが好きでないと務まらない」(25.4%)、「この中にはひとつもない」(6.9%)が有意に多かった。

③ 進学を希望する学部の内、「保育・幼児教育関係への進学を希望する」場合の要因分析について、関連する要因を検討するためにロジスティック回帰分析を用いて多変量解析を行った結果を表3に示す。「保育・幼児教育関係への進学を希望する」は、「家庭科で受けた授業のうち、保育や子育てに関する授業の印象」、保育士のイメージについて「楽しい」、「専門的な知識・技術を必要とする」、「保育の仕事に興味や関心」が有意に関連した。「保育の仕事に興味や関心」(1.08)が最も有意に高く、次いで保育士のイメージについて「専門的な知識・技術を必要とする」(1.05)、「楽しい」(1.04)が有意に高く、「家庭科で受けた授業のうち、保育や子育てに関する授業の印象」(0.98)が有意に低かった。

④ 「保育仕事に興味があり先生になりたいと思う」場合の要因分析について、関連する要因を検討するためにロジスティック回帰分析を用いて多変量解析を行った結果を表4に示す。「保育仕事に興味があり先生になりたいと思う」は、「学校の職場体験で、幼稚園や保育所に行ったこと」、「家庭科で受けた授業のうち、保育や子育てに関する授業の印象」、「学校の授業以外で、保育や子育てについて調べたり、話を聞くような機会」、保育士のイメージについて「楽しい」が有意に関連した。「家庭科で受けた授業のうち、保育や子育てに関する授業の印象」(2.87)が最も有意に高く、次いで「学校の授業以外で、保育や子育てについて調べたり、話を聞くような機会」(2.28)、「学校の職場体験で、幼稚園や保育所に行ったこと」(2.08)、保育士のイメージについて「楽しい」(1.89)が有意に高かった。

(3) まとめ

本調査の結果、「保育・幼児教育関係への進学を希望」する学生は中学生以降に幼稚園や保育所の先生の働く姿を見た経験があり、職場体験や保育や子育てについて調べたり話を聞く機会があることで、保育の仕事に興味や関心を持ち、将来、幼稚園や保育所の先生になりたいと考えるようになることが確認された。また自分が通っていた幼稚園や保育所の先生に憧れたから、という動機が背景にあることが確認された。また保育に興味・関心があり、先生になりたいと思う学生は、保育という仕事に対してのイメージを「子どもの成長を支える」、「楽しい」、「やりがいがある」といった肯定的な印象を持っていることが確認された。

一方、保育という仕事に興味、関心がないと答えた学生は幼稚園や保育所の先生の働く機会を見た経験が少なく、職場体験や話を聞く機会が少なく、保育という仕事に対しての

イメージは「子どもが好きでないと務まらない」といった否定的な印象を持っていることが確認された。

以上のことから、保育者を志望する高校生を増やしていくためには、保育の魅力を伝える取組として、保育の仕事や子供とふれ合える体験の機会を積極的に提供し、保育の仕事に興味をもってもらえる機会を増やすことが重要と考えられる。また、子どもの成長を支える重要な仕事であること、専門的な知識・技術を必要とする点などに理解を深めてもらうことで、より保育者を志望する高校生を増やす取り組みにつながるのではないかと推察される。

表 1-1 卒業後の進路別クロス集計

①保育・幼児教育関係への進学を希望

②保育・幼児教育関係以外への進学を希望、就職または未定

	全回答	幼保進学希望		
		①	②	
中学生以降に、幼稚園や保育所の先生の働く姿を見た経験(2 値)				
	N 916	45	871	chisq-test : 10.889***
ある	48.3%	73.3%***	47.0%***	
ない	51.7%	26.7%***	53.0%***	
学校の職場体験で、幼稚園や保育所に行ったこと				
	N 1,000	46	954	chisq-test : 9.347**
ある	25.4%	45.7%**	24.4%**	
ない	74.6%	54.3%**	75.6%**	
学校の授業以外で、保育や子育てについて調べたり、話を聞くような機会(2 値)				
	N 812	42	770	chisq-test : 20.081***
あった(よくあった、少しあった)	50.9%	85.7%***	49.0%***	
なかった	49.1%	14.3%***	51.0%***	
家庭科で受けた授業のうち、保育や子育てに関する授業の印象(2 値)				
	N 838	42	796	chisq-test : 2.918
肯定的(楽しかった、まあ楽しかった)	81.7%	92.9%	81.2%	
否定的(あまり楽しくなかった、楽しくなかった)	18.3%	7.1%	18.8%	
保育という仕事に対するイメージ				
	N 1,000	46	954	chisq-test : 12.540
やりがいがある	4.3%	4.3%	4.3%	
楽しい	2.0%	4.3%	1.9%	
子どもの成長を支える	14.3%	17.4%	14.2%	
子育てのプロ	5.6%	6.5%	5.6%	
専門的な知識・技術を必要とする	1.4%	0.0%	1.5%	
責任が重い	12.1%	15.2%	11.9%	
社会的に重要な仕事	4.8%	6.5%	4.7%	
子どもが好きでないと務まらない	21.5%	13.0%	21.9%	
残業が多い	6.3%	6.5%	6.3%	
保護者を支える	2.2%	0.0%	2.3%	
賃金が低い	16.7%	26.1%	16.2%	
人間関係が難しい	3.8%	0.0%	4.0%	
この中にはひとつもない	5.0%	0.0%	5.2%	

表 1-2 卒業後の進路別クロス集計（続き）

①保育・幼児教育関係への進学を希望

②保育・幼児教育関係以外への進学を希望、就職または未定

	全回答	幼保進学希望		chisq-test
		①	②	
保育の仕事に興味や関心(2 値)				
N	1,000	46	954	chisq-test : 79.569***
ある (ある、少しある)	33.8%	95.7%***	30.8%***	
ない (あまりない、ない)	66.2%	4.3%***	69.2%***	
将来、幼稚園や保育所の先生になりたいか(2 値)				
N	338	44	294	chisq-test : 30.770***
思う (思う、少し思う)	48.5%	88.6%***	42.5%***	
思わない (あまり思わない、思わない)	51.5%	11.4%***	57.5%***	
幼稚園や保育所の先生になりたいと思ったきっかけ				
N	164	39	125	chisq-test : 19.552
子どもが好きだから	42.1%	46.2%	40.8%	
弟や妹の面倒をみていたから	3.7%	7.7%	2.4%	
自分が通っていた幼稚園や保育所の先生に憧れたから	7.9%	15.4%*	5.6%*	
幼稚園や保育所で職場体験したから	2.4%	0.0%	3.2%	
中学校や高校の授業で保育について学んだから	1.8%	0.0%	2.4%	
保育の仕事に興味があったから	12.2%	12.8%	12.0%	
自分の性格に合っているから	3.7%	0.0%	4.8%	
得意なことを活かせると思ったから	3.7%	0.0%	4.8%	
子育てに役立つと思ったから	5.5%	2.6%	6.4%	
人のため、社会貢献できる職業だから	7.9%	7.7%	8.0%	
身近に幼稚園や保育所で働いている人がいるから	3.0%	5.1%	2.4%	
親や先生などに勧められたから	3.7%	0.0%	4.8%	
就職に困らないと思ったから	0.6%	2.6%	0.0%	
その他	0.0%	0.0%	0.0%	
わからない・覚えていない	1.8%	0.0%	2.4%	

表2 保育の興味や関心別クロス集計

①興味・関心があり、先生になりたいと思う、②興味・関心はあるが、先生になりたいとは思わない、③興味・関心はない

	全回答	保育への関心			
		①	②	③	
中学生以降に、幼稚園や保育所の先生の働く姿を見た経験(2値)					
	N 916	157	164	595	chisq-test : 37.645***
ある	48.3%	68.2%***	53.7%	41.5%***	
ない	51.7%	31.8%***	46.3%	58.5%***	
学校の職場体験で、幼稚園や保育所に行ったこと					
	N 1,000	164	174	662	chisq-test : 56.498***
ある	25.4%	48.2%***	25.9%	19.6%***	
ない	74.6%	51.8%***	74.1%	80.4%***	
学校の授業以外で、保育や子育てについて調べたり、話を聞くような機会(2値)					
	N 812	147	158	507	chisq-test : 87.272***
あった(よくあった、少しあった)	50.9%	78.9%***	63.9%***	38.7%***	
なかった	49.1%	21.1%***	36.1%***	61.3%***	
家庭科で受けた授業のうち、保育や子育てに関する授業の印象(2値)					
	N 838	153	166	519	chisq-test : 72.781***
肯定的(楽しかった、まあ楽しかった)	81.7%	97.4%***	95.2%***	72.8%***	
否定的(あまり楽しくなかった、楽しくなかった)	18.3%	2.6%***	4.8%***	27.2%***	
保育という仕事に対するイメージ					
	N 1,000	164	174	662	chisq-test : 79.044***
やりがいがある	4.3%	7.3%*	7.5%*	2.7%***	
楽しい	2.0%	5.5%***	1.1%	1.4%*	
子どもの成長を支える	14.3%	23.8%***	19.0%	10.7%***	
子育てのプロ	5.6%	5.5%	6.9%	5.3%	
専門的な知識・技術を必要とする	1.4%	1.8%	1.1%	1.4%	
責任が重い	12.1%	11.6%	15.5%	11.3%	
社会的に重要な仕事	4.8%	4.9%	5.7%	4.5%	
子どもが好きでないと務まらない	21.5%	11.6%***	16.1%	25.4%***	
残業が多い	6.3%	6.1%	3.4%	7.1%	
保護者を支える	2.2%	1.8%	2.3%	2.3%	
賃金が低い	16.7%	15.2%	16.7%	17.1%	
人間関係が難しい	3.8%	4.3%	2.9%	3.9%	
この中にはひとつもない	5.0%	0.6%*	1.7%*	6.9%***	

表3 幼保進学希望：ロジスティック回帰分析

項目	偏回帰係数	オッズ比	95%信頼区間		偏回帰係数の検定		
			下限値	上限値	Wald 値	p 値	df=1
中学生以降に、幼稚園や保育所の先生の働く姿を見た経験	0.01	1.01	0.98	1.04	0.31	0.58	
学校の職場体験で、幼稚園や保育所に行ったこと	0.01	1.01	0.98	1.04	0.20	0.66	
家庭科で受けた授業のうち、保育や子育てに関する授業の印象	-0.02	0.98	0.96	1.00	4.31	0.04*	
学校の授業以外で、保育や子育てについて調べたり、話を聞くような機会	0.02	1.02	1.00	1.04	3.27	0.07	
やりがいがある	0.01	1.01	0.98	1.04	0.66	0.42	
楽しい	0.04	1.04	1.00	1.08	4.95	0.03*	
子どもの成長を支える	-0.01	0.99	0.96	1.02	0.59	0.44	
子育てのプロ	-0.01	0.99	0.96	1.02	0.46	0.50	
専門的な知識・技術を必要とする	0.05	1.05	1.01	1.08	7.53	0.01**	
責任が重い	-0.01	0.99	0.97	1.02	0.37	0.54	
社会的に重要な仕事	0.00	1.00	0.98	1.03	0.07	0.79	
子どもが好きでないと務まらない	0.01	1.01	0.99	1.04	0.75	0.39	
残業が多い	0.00	1.00	0.98	1.03	0.11	0.75	
保護者を支える	0.01	1.01	0.98	1.04	0.62	0.43	
賃金が低い	0.02	1.02	0.99	1.04	1.48	0.22	
人間関係が難しい	0.00	1.00	0.98	1.03	0.09	0.76	
この中にはひとつもない	0.04	1.04	0.98	1.11	1.62	0.20	
保育の仕事に興味や関心	0.07	1.08	1.06	1.09	86.91	0.00***	

表4 保育への関心：ロジスティック回帰分析

項目	偏回帰係数	オッズ比	95%信頼区間		偏回帰係数の検定		
			下限値	上限値	Wald値	p値	df=1
中学生以降に、幼稚園や保育所の先生の働く姿を見た経験	0.22	1.25	0.78	2.00	0.85	0.36	
学校の職場体験で、幼稚園や保育所に行ったこと	0.73	2.08	1.33	3.24	10.29	0.00**	
家庭科で受けた授業のうち、保育や子育てに関する授業の印象	1.06	2.87	2.08	4.02	39.43	0.00***	
学校の授業以外で、保育や子育てについて調べたり、話を聞くような機会	0.82	2.28	1.70	3.08	29.76	0.00***	
やりがいがある	0.33	1.39	0.89	2.17	2.09	0.15	
楽しい	0.64	1.89	1.20	2.98	7.51	0.01**	
子どもの成長を支える	0.24	1.27	0.81	1.99	1.08	0.30	
子育てのプロ	-0.07	0.93	0.59	1.45	0.10	0.75	
専門的な知識・技術を必要とする	0.19	1.21	0.72	1.99	0.52	0.47	
責任が重い	-0.23	0.79	0.51	1.22	1.09	0.30	
社会的に重要な仕事	-0.27	0.76	0.47	1.22	1.24	0.27	
子どもが好きでないと務まらない	-0.41	0.66	0.44	1.00	3.83	0.05	
残業が多い	0.34	1.40	0.90	2.18	2.23	0.14	
保護者を支える	-0.39	0.68	0.42	1.10	2.44	0.12	
賃金が低い	-0.20	0.82	0.53	1.26	0.84	0.36	
人間関係が難しい	-0.35	0.70	0.44	1.11	2.23	0.14	
この中にはひとつもない	-2.04	0.13	0.01	0.69	3.68	0.06	